

平成28年度第1回函館市交通安全対策会議議事録

開催日時	平成28年8月8日(月) 10時00分～10時30分										
開催場所	函館市役所8階第1会議室										
議題	(1) 第10次函館市交通安全計画の策定について (2) その他										
出席者	<p>(1) 対策会議委員 工藤会長(函館市長), 遠藤委員, 川村委員, 大村委員, 石川委員, 原口委員, 斉藤委員, 小松委員(北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官 渋谷氏代理出席), 山谷委員(北海道労働局函館労働基準監督署副署長 菊池氏代理出席), 竹澤委員(北海道渡島総合振興局保健環境部環境生活課長 大森氏代理出席), 山本委員, 神林委員, 川越委員, 高橋委員, 岡崎委員, 藤田委員, 湯浅委員, 山田委員, 齋藤委員, 内藤委員, 國安委員 種田委員(函館市企画部次長 本吉氏代理出席), 谷口委員(函館市経済部次長 成澤氏代理出席), 小山内委員(函館市観光部観光企画課長 本吉氏代理出席)</p> <p style="text-align: right;">(計24名)</p> <p>(2) 事務局出席者職氏名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">市民部次長</td> <td style="width: 50%;">林 寿理</td> </tr> <tr> <td>市民部交通安全課長</td> <td>東海林 力</td> </tr> <tr> <td>市民部交通安全課主査</td> <td>唐神 勲</td> </tr> <tr> <td>市民部交通安全課主事</td> <td>疋田 高大</td> </tr> <tr> <td>市民部交通安全課交通安全推進員</td> <td>増山 洋子</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(計 5名)</p>	市民部次長	林 寿理	市民部交通安全課長	東海林 力	市民部交通安全課主査	唐神 勲	市民部交通安全課主事	疋田 高大	市民部交通安全課交通安全推進員	増山 洋子
市民部次長	林 寿理										
市民部交通安全課長	東海林 力										
市民部交通安全課主査	唐神 勲										
市民部交通安全課主事	疋田 高大										
市民部交通安全課交通安全推進員	増山 洋子										

会 議 内 容

1 開 会 【事務局／函館市市民部交通安全課：唐神主査】

2 挨拶 【工藤会長】

函館市長の工藤でございます。

本日は、皆様には、何かとお忙しい中、当対策会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様におかれましては、日頃から交通安全の諸施策の推進、ならびに本市の行政の推進に対し、多大なるご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

さて、本日の会議は、函館市における陸上交通の安全施策大綱であります「函館市交通安全計画」の策定に向けた第1回目の会議でございますが、ご承知のとおり、交通安全計画は、「交通安全対策基本法」に基づき策定されるものでございまして、平成23年度に策定しました第9次計画が、平成27年度をもって終了したことに伴いまして、平成28年度から32年度までを計画期間とする、第10次の計画を策定するものでございます。

本市におきましては、交通事故が大きな社会問題となっております。昭和46年度の第1次計画の策定以来、長きにわたり、本日の会議にご参集いただきました関係機関の皆様をはじめ、広く市民の皆様とも連携を図りながら、交通事故の防止に向けた様々な取り組みを推進してまいりました。

この結果、交通事故の発生も大きく減少してきているところではございますが、近年におきましては、少子高齢化を背景として、高齢者の方が犠牲となる事故が多くなってきているなど、事故の発生状況も大きく変化してきているところでございます。

このような中、皆様方には、交通事故のない社会を目指し、新たな交通安全計画の策定に向けて、ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、開会にあたっての、ご挨拶といたします。

3 委員紹介 【事務局／函館市市民部交通安全課：唐神主査】

4 議 題

(1) 第10次函館市交通安全計画の策定について

【工藤会長】

それでは、本日の議題であります、第10次函館市交通安全計画の策定に向けまして、ご審議をいただくこととなりますが、今後の取り組みなど概要について事務局に説明を求めます。

【事務局／函館市市民部交通安全課：東海林課長】

※資料1「第10次函館市交通安全計画の策定について」に基づき説明

・第9次函館市交通安全計画期間中の平成23年から平成27年まで交通事故の傾向について、死者数20人の内半数以上が高齢者、自転車乗車中の傷者数824人の内半数近くが20歳未満の若年層が占めている。

・平成27年12月末現在の函館市内の5歳階級別人口をみると65～70歳が最も比率が高く、第10次函館市交通安全計画期間中に高齢運転者標識の表示義務が発生する70歳以上になることから、より本格的な高齢者の交通事故対策の検討が必要となつてきている。

・国、道の計画には軌道交通の安全について掲げられていないが、函館市においては市電が主要な公共交通機関であるため第9次函館市交通安全計画から引き続き軌道交通の安全を推進していきたい。

・第9次函館市交通安全計画第2部「冬季に係る陸上交通の安全について」の内容はすべて道路交通の内容であるため、今後の策定の中では第1部「陸上交通の安全」第1章「道路交通の安全」に組み込み計画を立てていきたい。

・第9次函館市交通安全計画の期間中に交通事故の発生件数等が減少していることから、基本的には第9次函館市交通安全計画の内容を引き継ぎつつ、平成23年度以降の道路交通法の改正や、交通事故の傾向、新たな取り組みを組み込ながら策定を進めていきたい。

【工藤会長】

ただ今、事務局から説明がありましたが、幹事会を2回開催し、素案を固め、その後、パブリックコメントを経て本対策会議において決定したいとのことでございます。皆さんから、何かご意見等があれば賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

〈意見等なし〉

【工藤会長】

特に意見がないようですので、事務局案に沿って進めさせていただきます。

(2) その他

【工藤会長】

次に、その他でございますが、はじめに、事務局から何かありますか、

【事務局／函館市市民部交通安全課：東海林課長】

事務局から新たな幹事の加入についてご提案がございます。

平成 28 年 3 月 26 日の北海道新幹線の開業に伴い、江差線の五稜郭から木古内までの区間が J R 北海道から、第 3 セクターである道南いさりび鉄道株式会社に経営分離されたことに伴い、この路線のうち函館市域内の路線に係わり意見を求めるべく、今年度から、J R 北海道と同様に道南いさりび鉄道株式会社に当会議の幹事会に参加をしていただきたいと思いますと考えております。

以上でございます。

【工藤会長】

新たに道南いさりび鉄道を幹事会に加えたいということですが、この件につきましてご意見、ご質問等ございませんか。

〈意見等なし〉

【工藤会長】

それでは、この件を了承することで決定したいと思います。

次に、皆さんから何かございますか。

〈意見等なし〉

【工藤会長】

特にないようでございますので、これをもちまして、会議を終了いたします。

本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

6 閉会【事務局／函館市市民部交通安全課：唐神主査】